（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルてんじん3号館			
○保護者評価実施期間	令和７年　2月　1日	～	令和7年　3月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	１２世帯	（回答者数）	１２世帯
○従業者評価実施期間	令和7年　2月　1日	～	令和7年　3月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	７名	（回答者数）	７名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　4月　11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりの児童の様子をスタッフみんなが共有でき、話し合いが出来ることで多様な視野を持ち目標達成に向けて支援している。	支援や対応について何がよかったか、よくなかったか振り返りを行い、みんなで話し合える様な雰囲気づくり。目標を共通認識することを心掛けている。	・スキルアップの為研修に参加し多様な情報や支援の充実化を進める。 ・アセスメントをしっかりとり把握する。
2	事業所が複数あることで法人全体で活動の内容を意見交換出来たり、委員会が開催出来ている。	全体会議や委員会を月に１回行い、支援に関しての様々な情報を得ることが出来る。	社内目線だけではなく環境、地域にも目を向け柔軟な対応が出来るように情報収集、交流、業務改善に努める。
3	日常の活動、休日の戸外活動など目的、支援目標に沿った支援を児童に合わせてスタッフみんなで考えている。	表現、運動、生活、文字・数、音楽遊びを通じてみんながが楽しく参加できるように計画を立て準備している。活動の目的をスタッフみんなが理解できるよう掲示し役割分担をしている。	意見交換しやすいような環境づくりと振り返りを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の場が作れていない。	土曜、祝日のご利用もあり交流の時間の調整、企画が出来ていない。	業務の中で保護者様とスタッフの時間や業務に負担がないよう計画していく。
2	地域交流の機会が作れていない。	地域資源を把握できておらず、支援に役立てることが出来ていない。	いろいろな選択肢が増やせるよう地域交流の場に参加できるようにする。
3			